

「ボイラーの取扱い」第2版第2刷（平成21年4月30日発行）正誤表

（平成23年7月）

頁	訂正箇所	誤	正
117	図 7.2	(横軸) 温度[°C] 40, <u>56</u> , 60	(横軸) 温度[°C] 40, <u>50</u> , 60
138	↑14行	季節変化による水管の変動を受けやすい。	季節変化による水質の変動を受けやすい。
152	↑9行	$2\text{Na}_2\text{FeO}_2 + 4\text{H}_2\text{O} \rightarrow 6\text{NaOH} + \text{Fe}_3\text{O}_4 + \text{H}_2$	$3\text{Na}_2\text{FeO}_2 + 4\text{H}_2\text{O} \rightarrow 6\text{NaOH} + \text{Fe}_3\text{O}_4 + \text{H}_2$
152	↑8行	$3\text{Na}_2\text{FeO}_2 + 4\text{H}_2\text{O} + \text{O}_2 \rightarrow 6\text{NaOH} + \text{Fe}_3\text{O}_4 + 2\text{H}_2\text{O}$	$3\text{Na}_2\text{FeO}_2 + 3\text{H}_2\text{O} + 1/2\text{O}_2 \rightarrow 6\text{NaOH} + \text{Fe}_3\text{O}_4$
157.	表 7.10	亜硫酸ナトリウム・・・ボイラー圧力 <u>6.5MPa</u> 未満で使用する	亜硫酸ナトリウム・・・ボイラー圧力 <u>5.0MPa</u> 未満で使用する
160	↑13行	<u>6.5MPa</u> 以上のボイラーでの使用は避けるべきである。	<u>5.0MPa</u> 以上のボイラーでの使用は避けるべきである。
164	図 7.21	(縦軸) pH[25°C] 8.2 8.4 <u>8.8</u> 8.8	(縦軸) pH[25°C] 8.2 8.4 <u>8.6</u> 8.8
165	↑2行	カルシウム硬度りん酸塩により・・・	カルシウム硬度をりん酸塩により・・・
166	↑12行	次の式 (7.46) によるとシリカ・・・	次の式 (7.49) によるとシリカ・・・
179	↓5行	<u>7.785</u> : 1 : 8.875	<u>7.875</u> : 1 : 8.875